

令和2年度沖縄県県民の森に係る指定管理者制度運用委員会について

(令和2年度指定管理者制度モニタリング検証結果)

- 1 開催日時： 令和2年7月21日（火）10：00～11：30
- 2 開催場所： 沖縄県庁9階 第4会議室
- 3 委員の出席状況： 委員4名中、4名出席
（委員長）国立大学法人琉球大学 准教授 木島真志
（委員）株式会社CSDコンサルタンツ 代表取締役社長 西里 喜明
（委員）はごろもPMパートナーズ 所長 大城 肇
（委員）沖縄科学技術大学院大学 沖縄環境研究支援セクションリサーチサポーターリーダー 吉村 正志
- 4 検証事項： 「沖縄県県民の森」の令和元年度実績に基づくモニタリング結果の検証について
- 5 検証内容
 - 1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適正になされているか
 - 2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
 - 3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか
- 6 検証方法
 - 1) 事務局（森林管理課）によるモニタリング実施結果の報告
 - 2) 質疑・意見（各委員からの質疑等に対し、事務局及び指定管理者から回答）
- 7 議事の概要（主な意見）

沖縄県県民の森のモニタリングについて、大きな指摘は無かった。

●リニューアルされたパンフレットの雰囲気がよいので、ホームページでも見られるようにしたらよい。

●アンケートの回収数が一昨年度より増加したとはいえ、まだまだ少ない。アンケート回収を増やしていく方策が必要である。

●キャンプ場がペット同伴可能になると、他の施設との差別化が図られるのではないか。ゾーン分けを検討して、ペットを連れていない人も連れてくる人も楽しめるように検討してみてもどうか。

●建物も遊具も、作れば老朽化する。施設が老朽化して、本来の利用ができなくなってから修繕を入れるのは遅い。耐用年数を計算しながら施設の維持管理計画を立て、修繕などを継続していかなければ指定管理者の負担が大きくなる。

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県民の森	対象年度	令和1年度
------	--------	------	-------

【 目 次 】

I. 履行確認		
1. 維持管理業務	1
(1) 清掃		
(2) 保守・点検		
(3) 保安・警備		
(4) 小規模修繕		
(5) 備品購入		
(6) 防犯・防災対策		
(7) 料金徴収業務		
2. 運營業務	5
(1) 利用実績		
1) 利用者数等（又は入居率等）		
2) 施設稼働率		
3) 教室・イベント等参加者数		
(2) 運営企画		
(3) 受付・接客		
(4) 広報		
(5) 情報管理		
3. 自主事業	10
II. サービスの質の評価	 11
1. 維持管理業務		
2. 運營業務		
3. 自主事業		
4. 総合評価		
III. サービスの安定性評価(財務状況)	 13
1. 事業収支		
(1) 収入		
(2) 支出		
2. 経営分析指標		
IV. 総合評価	 15
1. 目標		
2. 評価結果		

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県民の森	対象年度	令和1年度
指定管理者	沖縄北部森林組合 指定期間:平成30年4月～令和5年3月	所管課	農林水産部 森林管理課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉 ・園内の利用頻度の多い場所を巡回し、紙くず、空き缶等の不法投棄物を速やかに除去する。 ・トイレは1日3回以上巡回点検し清潔な環境を保つように努める。	○		・休園日を除き2名の清掃員が実施。 ・建物内のトイレについては各施設担当者による清掃を実施。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に実施。	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 園内の美化を保つため、適正に対応している。 【課題】 特になし
〈定期清掃〉 ・園内の清掃については、巡回による清掃と定期的に行う清掃により衛生的な環境を保持するとともに、美観の保持に努める。	○		・定期的に側溝等の枯れ葉除去等を清掃員及び作業員により実施。			

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
貯水槽清掃及び検査 1回/年		○	貯水槽清掃及び簡易水質検査を実施。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 学習展示館屋上のタンク配管類の経年劣化、受水槽のバルブ類の腐食がみられ、修理等が必要。 【課題】 今年度の改修工事の中で上記問題点についても改修予定。
浄化槽維持管理 2回/月		○	専門業者に委託し、法定点検を行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。 特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし
ガス点検 適宜		○	業者の定期検針点検及び職員による点検を日常的に行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。 特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし
消防用設備点検 2回/年		○	消防用設備点検について、専門業者に委託し、法定点検を行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。 特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
電気保安業務 1回/月		○	専門業者に委託し、法定点検を行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし
施設における機械警備 通年		○	警備専門業者に委託し、警備機器を実施した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし
夜間(常駐)警備 8ヶ月		○	キャンプ場の宿泊利用期間中(4月～11月)における夜間警備を専門業者に委託し、適切な防犯対策を行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
修繕費 350,000円		○	基本協定第19条に基づき、施設・設備等の小規模修繕(目安:1件修繕30万円未満)については適切に行った。 実績: 613,875円	事業報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。経年劣化が著しい施設が多くなっており、指定管理者の負担が増えているため、県で予算を確保し、指定管理者と連携しながら修繕を実施した。	実績額が事業計画額を上回っており、指定管理者の修繕費負担が増加している。	【現状分析】 施設の老朽化が著しく、大規模な修繕が必要となっている。 【課題】 優先度の高い施設から修繕を進めているが、修繕が必要な箇所が多く単年度では終えられないため、計画的に修繕を実施していく。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
備品購入費 0円		○	実施なし	実施なし	—	—

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>公園利用者及び職員の安全管理、施設の適正な維持、園内の秩序を図る。</p> <p>・連絡体制を図示し張り出す ・危険箇所に立て札等を設置する ・焚き火を禁止する ・消火器等を点検する ・農薬、燃料を適正に保管する 等</p>	○		<p>危機管理マニュアルに基づき、適切に運用した。</p> <p>・連絡体制図を各窓口に掲示した ・危険箇所に立て札等を設置した ・消火器等を点検した ・備品等は、定期的に数量や状態の確認を行い、所定の場所で適切に管理した。 ・防火管理者を選定し、消防計画に基づく消火、通報及び避難訓練を実施した。</p>	<p>報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。</p>	<p>事業計画のとおり実施されている。</p>	<p>【現状分析】 実態にあわせてマニュアルや管理体制の見直しが行われている。</p> <p>【課題】 特になし</p>

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>料金徴収フローチャートを作成し、経理係を設け、売上金額の照合を毎日行う。金庫を設置し、入場者の申込書、売上金、釣銭の管理を行う。金銭は北部森林組合事務所(名護市)へ運び金庫で管理する。</p>	○		<p>・料金徴収フロー図を作成し、各施設に備え付けて適切に対応した。</p>	<p>報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。</p>	<p>事業計画のとおり実施されている。</p>	<p>【現状分析】 実態にあわせてフロー図や管理体制の見直しが行われている。</p> <p>【課題】 料金表は日本語と英語の2言語表記のみであることから、今後、多言語対応を検討する。</p>

(8) 植栽管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>統括責任者は、作業員に対して作業箇所や作業方法等を十分に説明し、作業にあたらせる。また、機械類は、始業点検・整備を確実にし、作業効率の向上のほか、危険防止に努める。なお、作業を行う上で発生した剪定枝等は処理業者に委託するなど法令に従い適切に処理する。</p>	○		<p>・公園管理責任者及び作業員4名により仕様書を基準にし、必要に応じて適宜実施。</p>	<p>報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。特に問題なし</p>	<p>事業計画のとおり実施されている。</p>	<p>【現状分析】 適正に実施されている。広場の団体予約が入った際には、日程にあわせて芝刈りを行うなど、臨機応変に対応している。</p> <p>【課題】 特になし</p>

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加・削除して記入して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

1. 維持管理業務 取組改善案	○開園から30年が経過し施設の老朽化が著しい県民の森においては、今後の公園のあり方等を見直した上で、「沖縄県公共施設等総合管理計画」に基づき令和1年度に施設の個別施設計画を策定した。今後は計画に基づき施設の長寿命化を図り、適切に管理していく。 ○大規模な修繕については、修繕料を県で予算化し、積極的に修繕を行っていく。
--------------------	--

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R1年度)の主な取組改善案を記入してください。

2. 運營業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		H30年実績	事業計画 (目標値)	R1年実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
利用者数	個人利用者数	123,136	143,891	104,157	84.6	72.4	【現状分析】 年々減少傾向にある。 【課題】 老朽化した施設の大規模改修を行い魅力的な施設にする必要がある。 また、広報活動を行い、利用者の増加を目指す。
	団体利用者数	8,031	11,763	8,630	107.5	73.4	【現状分析】 受け入れイベントへの参加者が減少したことが、参加者減の要因と考えられる。 【課題】 イベントは県民の森の宣伝にも繋がるため、自主事業実施イベントを含めて今後も継続して実施していく。
	教室・イベント 参加者数	6,931	4,273	4,996	72.1	116.9	【現状分析】 団体利用は昨年度より増加したものの、個人利用、イベント参加者が減少した。 【課題】 老朽化施設の大規模改修を行い魅力的な施設にする必要がある。 また、広報活動を行い、利用者の増加を目指す。
計		138,098	159,927	117,783	85.3	73.6	【現状分析】 団体利用は昨年度より増加したものの、個人利用、イベント参加者が減少した。 【課題】 老朽化施設の大規模改修を行い魅力的な施設にする必要がある。 また、広報活動を行い、利用者の増加を目指す。
					評価(①利用状況)	C	

【評価基準 (①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

2) 施設稼働率

① 稼働日数

日 数		H30年度実績	事業計画 (目標値)	R1年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
①平日稼働率	シャワー室	56日	35日	51日	91%	146%	<p>【現状分析】 研修室は地元団体が定期的に利用しており稼働率が上がっている。一方、グラウンドゴルフ場は天候不良によるキャンセルなどがあり、稼働率が下がった。</p> <p>【課題】 屋外施設の稼働率は天候により左右されるため、計画どおりとはいかないが、稼働率を上げる努力を続ける必要がある。</p>
	キャンプ場	94日	84日	94日	100%	112%	
	パークゴルフ場	45日	53日	56日	124%	106%	
	グラウンドゴルフ場 (スポーツ広場)	29日	20日	6日	21%	30%	
	中央広場	48日	61日	55日	115%	90%	
	研修室 (森林学習展示館内)	13日	20日	24日	185%	120%	
②土日祝日稼働率	シャワー室	58日	58日	64日	110%	110%	<p>【現状分析】 グラウンドゴルフ場、広場以外の施設は前年よりも稼働率が上がっている。</p> <p>【課題】 屋外施設の稼働率は天候により左右されるため、計画どおりとはいかないが、稼働率を上げる努力を続ける必要がある。</p>
	キャンプ場	79日	81日	100日	127%	123%	
	パークゴルフ場	72日	83日	82日	114%	99%	
	グラウンドゴルフ場 (スポーツ広場)	25日	21日	14日	56%	67%	
	中央広場	42日	42日	32日	76%	76%	
	研修室 (森林学習展示館内)	6日	15日	21日	350%	140%	
①②合計	シャワー室	114日	93日	115日	101%	124%	
	キャンプ場	173日	165日	194日	112%	118%	
	パークゴルフ場	117日	136日	138日	118%	101%	
	グラウンドゴルフ場 (スポーツ広場)	54日	41日	20日	37%	49%	
	中央広場	90日	103日	87日	97%	84%	
	研修室 (森林学習展示館内)	19日	35日	45日	237%	129%	
計					117%	101%	

② 稼働回数

回数		H30年度実績	貸出可能数	R1年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	稼働率	
①平日稼働率	シャワー室	410回	772回	445回	109%	58%	【現状分析】 研修室は地元団体が定期的に利用しており稼働率が上がっている。一方、グラウンドゴルフ場は天候不良によるキャンセルなどがあり、稼働率が下がった。 【課題】 ・屋外施設の稼働率は天候により左右されるため、計画どおりとはいかないが、稼働率を上げる努力を続ける必要がある。
	キャンプ場	790回	20,844回	487回	62%	2%	
	パークゴルフ場	52回	193回	56回	108%	29%	
	グラウンドゴルフ場 (スポーツ広場)	31回	193回	6回	19%	3%	
	中央広場	52回	193回	55回	106%	28%	
	研修室 (森林学習展示館内)	83回	579回	161回	194%	28%	
②土日祝日稼働率	シャワー室	1,755回	488回	3,008回	171%	616%	【現状分析】 ・シャワー室、キャンプ場の休日稼働率は昨年度より向上。 【課題】 ・稼働率を上げることで利用料金収入が増加し、サービス向上に繋がる。
	キャンプ場	2,091回	13,176回	2,456回	117%	19%	
	パークゴルフ場	88回	122回	82回	93%	67%	
	グラウンドゴルフ場 (スポーツ広場)	26回	122回	14回	54%	11%	
	中央広場	45回	122回	32回	71%	26%	
	研修室 (森林学習展示館内)	55回	366回	183回	333%	50%	
①②合計	シャワー室	2,165回	1,260回	3,453回	159%	274%	
	キャンプ場	2,881回	34,020回	2,943回	102%	9%	
	パークゴルフ場	140回	315回	138回	99%	44%	
	グラウンドゴルフ場 (スポーツ広場)	57回	315回	20回	35%	6%	
	中央広場	97回	315回	87回	90%	28%	
	研修室 (森林学習展示館内)	138回	945回	344回	249%	36%	
計					122%	66%	

3) 教室・イベント等参加者実績

	内容	H30年実績	事業計画 (目標値)	R1年実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
教室	どんぐり染め・藍染め 体験	8月26日(日) 【15人】	1回/年 夏休み期間中 【15組30人】	8月11日(日) 【19人】	126%	63%	【現状分析】 天候不良による計画 日の変更等により、 計画どおり実施でき ていない事業があ る。 【課題】 イベント参加者の評 価はよいことから、 イベントを効果的に 周知する必要があ る。
	炭焼体験 (山の日イベント)	台風の影響に より中止	8月11日(土) 【10組20人】	8月11日(日) 【10人】	—	50%	
	どんぐりのクラフト教 室	10月21日(日) 【39人】	10月頃 【30人】	10月27日(日) 【9人】	23%	30%	
	葉っぱで身近な生物づ くり	全国育樹祭イ ベントが中止と なり実施でき なかった。	11月頃 【30人】	2月13日(木) 【8人】	—	27%	
イベント	きずな駅伝大会	12月15日(土) 【3区間3名33 組・5区間5名 26組 計229 人】	12月第2土曜日 【3区間3名50 組・5区間5名50 組】	12月8日(日) 【計251人】	110%	63%	【現状分析】 概ね計画どおりイ ベントを実施したが、 グラウンドゴルフ大 会については、別会 場で開催されたこと から実施できなかった。 【課題】 目標の参加者を確保 するため、集客方法 など工夫する必要が ある。
	沖縄県民の森グラウ ンドゴルフ大会	6月10日 3月16日 【計292人】	—	—	—	—	
	軽トラ日曜日	【日時, 店舗 数】 5/20, 2店 6/17, 8店 7/15, 15店 8/19, 8店 9/16, 4店 10/21, 5店 12/16, 5店 1/20, 5店 2/17, 5店 3/17, 6店 年10回開催	毎月第3日曜 ※H30.5月から年 11回開催	【日時, 店舗数】 4/21, 5店 5/19, 7店 6/16, 7店 7/21, 5店 8/18, 5店 9, 10月は台風中 止 11/17, 1店 12/15, 5店 1/19, 4店 2/16, 雨天中止 3/15, 2店(途中 中止) 年9回開催	—	90%	
計					86%	54%	

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析☐課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開園日数〉 県民の森の休園日は、沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第8条の規定によることとする。	沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第8条の規定のとおり実施した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。 特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 事業計画どおり実施した。 【課題】 特になし
〈開園時間〉 県民の森の開園時間は、沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第9条の規定によることとする。	沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第9条の規定のとおり実施した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。 特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 事業計画どおり実施した。 【課題】 特になし

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析☐課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
・入園者に対し、パンフレット等の配布と各施設の利用案内を行う。 ・用具の使用方法を説明し、指導する。 ・森林学習展示館の来館者に対して必要とする場合は、学習指導を行う。	○		・事業計画に基づき各施設担当者により実施。	・施設利用案内等は概ね適切に行われている。	・計画どおりに実施した。学習展示館においてはパンフレットでの案内となった。	【現状分析】 展示施設の劣化などもあり、学習指導体制が十分とは言えない。 【課題】 学びの場である学習展示館は改修工事のため2年間の休館になる。改修後、来館者への学習効果をあげるため、展示内容に応じた説明ができるよう、今後工夫の必要がある。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析☐課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
・印刷製本費 (リーフレット発注費等) 50,000円 ・広告費(新聞広告、看板等) 26,000円 計76,000円	○		・イベントのチラシやポスターを作成し、新聞への掲載(無料)各自治体や関係機関等に配布し周知を図った。	・ホームページの作りが簡素すぎ、情報量が十分ではない。 ・パンフレットは昨年度新規に作成し、県民の森で配布している。	・イベント等への集客に課題があり、広報活動を強化する必要がある。	【現状分析】 ・ホームページに掲載している情報量が少ない。 ・パンフレットは昨年度新規に作成し、県民の森で配布している。 【課題】 ホームページのデザインの更新及びイベント告知等を積極的にホームページで行う必要がある。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析☐課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報の保護に関する法律及び条例に基づき、必要な措置を行う。	○		個人情報の保護に関して職員に周知し、適切に管理を行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。 特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 事業計画どおり実施した。 【課題】 特になし

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
自動販売機の設置 収入 250,000円	○		収入300,799円	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。	事業計画より収入実績が増額している。	【現状分析】 事業計画より収入実績が増加している。 【課題】 特になし。
備品貸出収入 200,000円	○		備品貸出し 収入363,900円	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。 特に問題なし	事業計画より収入実績が増額している。	【現状分析】 計画より実績が上回り、順調に実施できた。 【課題】 貸出備品の宣伝を積極的に行い収入増を目指す。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	○利用者は減少傾向にある。自主事業による教室開催は参加者の評判はよいものの参加人数がふるわない。イベント等の周知を工夫し、イベントへの参加者を増やすことで、県民の森の周知につなげる。
-----------------------------	---

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(H30年度)の主な取組改善案を記入してください。

II. サービスの質の評価

※ 項目毎に有効回答を分母に割合を算出した。

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題
	H30年評価	R1年目標	R1年評価		
維持管理・運営業務	施設・設備の整備状況 〈満足度〉83% 評価：A ・良い69% ・やや良い14% ・普通11% ・やや悪い3% ・悪い9%	〈満足度〉80%以上 評価：A	〈満足度〉87% ・良い 48% ・やや良い 39% ・普通 5% ・やや悪い 2% ・悪い 5%	A	・利用者の意見、要望等については、対応可能な範囲で実施したが、指定管理者の裁量では実施できないものについては県と相談している。
			〈改善要望〉 ・子供の遊具を置いてほしい（複数回答） ・シャワールーム増設、トイレ増設 ・洋式トイレにしてほしい。 ・展示が貧弱、子供たちが興味を持てない施設にしてほしい。		
接客対応	〈満足度〉71% 評価：B ・良い 45% ・やや良い 26% ・普通 23% ・やや悪い 3% ・悪い 3%	〈満足度〉80%以上 評価：A	〈満足度〉89% ・良い 56% ・やや良い 33% ・普通10% ・やや悪い 1% ・悪い 0%	A	・初めて利用する方には、パンフレットで案内し登山コース、溪流コースの出入口の説明を行った。 ・電話対応での予約受付も適切に行った。
			〈改善要望〉 ・特になし		
施設の管理について	〈満足度〉93% 評価：A ・良い 90% ・やや良い 3% ・普通 0% ・やや悪い 3% ・悪い 3%	〈満足度〉80%以上 評価：A	〈満足度〉83% ・良い 53% ・やや良い 30% ・普通 8% ・やや悪い 5% ・悪い 4%	A	・パークゴルフ場の芝管理の意見については、適宜芝刈を行った。 ・ストライダーが利用できるよう周辺含めて芝刈を行った。 ・利用者の意見、要望等については、対応可能な範囲で実施した。
			〈改善要望〉 ・草刈りがあまりされていない ・トイレが汚い/つまっている		
再訪意向	〈満足度〉77% 評価：B ・良い 56% ・やや良い 21% ・普通 19% ・やや悪い 2% ・悪い 2%	〈満足度〉80%以上 評価：A	〈満足度〉98% ・良い 75% ・やや良い 23% ・普通 2% ・やや悪い 0% ・悪い 0%	S	・要望等については、県と調整しながら検討して令和2年度よりキャンプが1年通して利用できるようになった。 ・たき火の要望については、森林火災の恐れがあり許可ができない。（薪ストーブの利用ができないか検討している。）
			〈改善要望〉 ・冬場もキャンプ利用できるようにしてほしい（複数回答あり） ・たき火OKにしてほしい（複数回答あり）		

<p>教室・イベント ※自主事業</p>	<p>〈満足度〉96% 評価：S ・良い 96% ・普通 2% ・悪い 2%</p>	<p>〈満足度〉80%以上 評価：A</p>	<p>〈満足度〉100% ・良い 100% ・普通 0% ・悪い 0% (有効回答22件)</p>	<p>S</p>	<p>・自主事業の小イベントはほぼ予定通り行うことができた。 ・次年度は助成金制度を利用したイベントをできないか検討したい。</p>	<p>【現状分析】 参加者の満足度は高いが、予定人数に達しなかった事業や中止になった事業があった。 【課題】 年間計画を早めに作成し、日程調整や広報活動を計画的に行う必要がある。</p>
<p>自主事業</p>	<p>〈満足度〉 評価：- ※アンケート等を実施できなかった。</p>	<p>〈満足度〉80%以上 評価：A</p>	<p>〈満足度〉 ※アンケート等を実施できなかった。 〈改善要望〉 ・特になし</p>	<p>-</p>	<p>【クラフトゴルフ大会】 毎年2回開催行っていますが、主催者の意向で場所変更により県民の森での開催はなかった。 【きずな駅伝大会】 申込方法でスポーツエントリーを利用したことは良かった。育樹事業により開催日程の変更もあり前回より参加者減となり、今回はこれまでの日程で実施していきたい。</p>	<p>【現状分析】 屋外イベントのため、アンケート調査が難しい状況。参加者からは「満足している」との声が多い。 きずな駅伝は広報活動に力を入れることで更に参加者増が見込まれる。 【課題】 アンケートの調査方法を検討し、利用者の評価やニーズ等を把握する必要がある。</p>
<p>総合評価 (各評価項目の平均)</p>	<p>〈満足度〉85% 評価：A ・良い 73% ・やや良い 12% ・普通 11% ・やや悪い 2% ・悪い 2%</p>	<p>〈満足度〉80%以上 評価：A</p>	<p>〈満足度〉91% ・良い 66% ・やや良い 25% ・普通 5% ・やや悪い 2% ・悪い 2%</p>	<p>評価 (②満足度) S</p>	<p>・アンケート用紙を記入しやすく改善することで、昨年よりアンケートが増えたことは良かった。</p>	<p>【現状分析】 昨年度、アンケート用紙を記入しやすく変更したことから一昨年より多くのアンケートを集めることができた。(アンケート回収状況) 維持管理等 100件 (H30年度 47件) イベント 22件 【課題】 毎年、複数要望が寄せられていた「キャンプ場の通年利用」については、条例改正により令和2年度から年間を通しての利用が可能となった。利用者への周知を図り、利用者増につなげる。</p>

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。
※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

※1:満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段階の割合、3段階評価の場合上位の割合)
ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度
S : 90%以上
A : 80%以上、90%未満
B : 70%以上、80%未満
C : 70%未満

<p>II. サービスの質の評価 取組改善案</p>	<p>○多くの利用者の声を把握し、施設のサービス向上に繋げるため、アンケートの回収率を上げるよう手法を検討する。 ○教室やイベント参加者の満足度は非常に高いため、積極的に自主事業を実施し施設をPRすることで集客に繋げる。</p>
--------------------------------	--

※「II. サービスの質の評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(H30年度)の主な取組改善案を記入してください。

Ⅲ. サービスの安定性評価（財務状況）

1. 事業収支

(1) 収入

収入項目		H30年実績	事業計画	R1年実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
利用料金収入	シャワー室	342,200	4,000,000	399,200	116.7	109.5	
	キャンプ場	2,087,725		2,195,375	105.2		
	パークゴルフ場	458,400		522,000	113.9		
	広場	372,600		277,500	74.5		
	研修室	111,000		113,250	102.0		
	備品貸出料金	793,740		874,220	110.1		
計		4,165,665	4,000,000	4,381,545	105.2	109.5	
指定管理料		26,477,000	26,723,000	26,723,000	100.9	100.0	
自主事業収入	電気使用料（NTTドコモ）	119,176	121,000	121,681	102.1	100.6	
	自動販売機	353,225	250,000	300,799	85.2	120.3	
	備品貸出料金	232,900	200,000	363,900	156.2	182.0	
	イベント等	471,800	846,000	387,300	82.1	45.8	
計		1,177,101	1,417,000	1,173,680	99.7	82.8	
合計（A）		31,819,766	32,140,000	32,278,225	101.4	100.4	

【現状分析】

○利用料金収入は前年比、計画比ともに増加しており、今後もキャンプ場の利用強化及びイベント誘致による収入増が見込まれる。

【課題】

○自主事業収入は前年比、計画比ともに減となっている。備品貸出は計画を大幅に上回る実績があったものの、イベント等の収入が計画を大きく下回っているため、原因を明らかにし改善を図る必要がある。

(2) 支出

支出項目	H30年実績	事業計画	R1年実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項
人件費	20,955,457	20,980,000	21,469,340	102.5	102.3	
旅費	3,980	5,000	3,560	89.4	71.2	
修繕費	841,822	350,000	613,875	72.9	175.4	
委託業務費	3,878,171	4,500,000	4,121,040	106.3	91.6	
備品購入費	116,661	0	0	0.0	0.0	
食料費	0	10,000	8,508	0.0	85.1	
消耗品費	169,592	150,000	184,999	109.1	123.3	
印刷製本費	41,283	50,000	69,760	169.0	139.5	
役務費	361,570	613,000	621,139	171.8	101.3	
光熱水費	2,952,014	2,410,000	2,470,297	83.7	102.5	
燃料費	484,844	450,000	473,541	97.7	105.2	
使用料及び賃借料	989,887	1,100,000	958,884	96.9	87.2	
諸経費	378,010	476,000	291,279	77.1	61.2	
自主事業費（イベント）	451,822	825,000	673,389	149.0	81.6	
合計（B）	31,625,113	31,919,000	31,959,611	101.1	100.1	

【現状分析】

○おおむね計画どおりに実施。

○修繕費が計画額を大幅に上回っており、施設の老朽化に伴い指定管理者の修繕費負担が増加している。

【課題】

○県民の森は開園から30年が経過し施設の老朽化が著しいため、利用者の要望を踏まえ、R1年度に個別施設計画を策定し中長期的な施設管理を行っていく計画としている。今後、計画的に施設の改修、整備を実施していく必要がある。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 経営分析指標

評価指標	H30年実績	事業計画	R1年実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	194,653	221,000	318,614	163.7	144.2	
収益率 (事業収支(C)/収入(A))	0.6%	0.7%	1.0%	161.4	143.6	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	13%	12%	14%	103.7	109.1	
人件費比率 (人件費/支出(B))	66%	66%	67%	101.4	102.2	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	12%	14%	13%	105.2	91.5	委託費(設備管理費、保安警備費、廃棄物処理費の合計)
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	¥229	¥231	¥271	118.5	117.4	利用者数 117,783人
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	¥192	—	¥227	118.3	—	

【現状分析】
○事業収支は、平成30年度から収支バランスの見直しが行われプラスとなっている。

【課題】
○修繕費が計画を上回っており、指定管理者の負担が増加しているため、大規模修繕については県が予算化し積極的に修繕を行う必要がある。
○利用人数が減少したため、利用者一人あたりの管理コストが増加している。一方で利用料金収入は増加していることから、施設を散策等で利用する人が減少したことによると考えられる。今後実施する大規模修繕や改修により、施設の魅力を高め、来訪者を増やす必要がある。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

評価(③財務状況)

A

【評価基準(③財務状況)】

収益率(事業収支/収入合計)

A: 0%以上

B: -5%以上、0%未満

C: -5%未満

Ⅲ. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	○広報活動やイベント等を積極的に行い、利用料金収入及び自主事業収入を増加させ経営安定を図る。
----------------------------------	--

※「Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(H30年度)の主な取組改善案を記入してください。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものなのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	備考	
成果指標	①利用状況	利用者数	159,927	159,927	159,927	159,927	平成28～30年度の平均値を目標に設定し、A評価(100%以上)目標とする。
	②満足度	満足度	80%	80%	80%	80%	A評価(80%以上)を目標とする。
財務指標	③財務状況	収益率	0%	0%	0%	0%	収支計画を適切に見込み、A評価(0%以上)を目標とする。

2. 評価結果

評価項目	評価指標	H30実績	事業計画 (目標値)	R1実績	R1実績		現状分析・課題	評価	取組改善案	R2 目標値	
					前年比	計画比					
成果指標	①利用状況 P5転記	利用者数	138,098	159,927	117,783	85.3	73.6	<p>【現状分析】 団体利用は昨年度より増加したものの、個人利用、イベント参加者が減少した。</p> <p>【課題】 老朽化施設の大規模改修を行い魅力的な施設にする必要がある。また、広報活動を行い、利用者の増加を目指す。</p>	C	<p>○利用者は減少傾向にある。自主事業による教室開催は参加者の評判はよいものの参加人数がふるわない。イベント等の周知を工夫し、イベントへの参加者を増やすことで、県民の森の周知につなげる。</p>	B
	②満足度 P12転記	満足度	85%	80%	91%	107.1	113.8	<p>【現状分析】 昨年度、アンケート用紙を記入しやすく変更したことから一昨年より多くのアンケートを集めることができた。 (アンケート回収状況) 維持管理等 100件(H30年度47件) イベント 22件</p> <p>【課題】 毎年、複数要望が寄せられていた「キャンプ場の通年利用」については、条例改正により令和2年度から年間を通しての利用が可能となった。利用者への周知を図り、利用者増につなげる。</p>	S	<p>○多くの利用者の声を把握し、施設のサービス向上に繋げるため、アンケートの回収率を上げるよう手法を検討する。</p> <p>○教室やイベント参加者の満足度は非常に高いため、積極的に自主事業を実施し施設をPRすることで集客に繋げる。</p>	S
財務指標	③財務状況 P14転記	収益率	0.6%	0.7%	1.0%	161.4	143.6	<p>【現状分析】 ○事業収支は、平成30年度から収支バランスの見直しが行われプラスとなっている。</p> <p>【課題】 ○修繕費が計画を上回っており、指定管理者の負担が増加しているため、大規模修繕については県が予算化し積極的に修繕を行う必要がある。</p> <p>○利用人数が減少したため、利用者一人あたりの管理コストが増加している。一方で利用料金収入は増加していることから、施設を散策等で利用する人が減少したことによると考えられる。今後実施する大規模修繕や改修により、施設の魅力を高め、来訪者を増やす必要がある。</p>	A	<p>○広報活動やイベント等を積極的に行い、利用料金収入及び自主事業収入を増加させ経営安定を図る。</p>	A
活動指標	④重点取組事項	利用促進及び経営安定を図るため、自主事業を積極的に行う。 (備品貸出及びイベントの事業収支)	252,878	221,000	77,811	30.8	35.2	<p>【現状分析】 OTSと連携した、レンタカーとキャンプのセット販売のためのキャンプ用具を購入したことから、一時的に自主事業利益が減少した。</p> <p>【課題】 事業連携により安定した収入につなげる。</p>	C	<p>○安定してOTSとのタイアップ客を受け入れを行うとともに、一般客の受入もこれまで通り行うことで収益を確保する。</p>	B
総合評価								B			

※「現状分析・課題」「取組改善案」は6-I～IIIから転記する。

※「H30目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

参考：評価基準

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

A：0%以上

B：-5%以上、0%未満

C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S：目標を大きく上回る

A：目標を概ね達成

B：目標を下回る

C：目標を大きく下回る

【総合評価基準】

総合評価基準	
S	40点以上 <small>かつ各評価項目において C評価がないこと</small>
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

労働条件等自主点検表

施設名称	沖縄県民の森	対象年度	平成31年度（令和1年度）
指定管理者名	沖縄北部森林組合		

※ 以下の確認事項に従い、指定管理者による確認結果欄の該当する箇所に○を付け、記入が必要な箇所については記入願います。

確認事項	指定管理者による確認結果						
<p>1 労働条件の明示 労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。</p> <p>労働契約の締結時には、パートタイム労働者を含むすべての労働者に対し労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を明示しなければなりません。特に、労働契約期間、有期労働契約を更新する場合の基準、始業・終業の時刻、所定時間外労働の有無等、約定賃金の決定、計算、支払の方法及び賃金の締切り、支払の時期等、退職（解雇の事由を含む。）については、書面を交付しなければなりません [労働基準法（以下「法」といいます。）第15条]</p>	<p>就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している</p>	<p>労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している</p>	<p>労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない</p>	<p>労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している</p>	<p>労働契約締結時には明示していない</p>		
	1	2	3	4	5		
	（3～5については、改善が必要です）						
<p>2 就業規則 就業規則（労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職（解雇の事由を含む。）等、労働条件の具体的細目を定めた規則）を作成していますか。また就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。</p> <p>常時10人以上の労働者（パートタイム労働者を含む。）を使用する事業場では、就業規則を作成し、所轄労働基準監督署長へ届け出なければなりません（法第89条） また、常時各作業場の見やすい場所への掲示、備付け、書面の交付又は電子機器の設置等により労働者に周知させなければなりません（法第106条）</p>	<p>常時使用する労働者が10人未満である。</p>	常時使用する労働者が10人以上である					
		<p>作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている</p>	<p>作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない</p>	<p>作成してあるが、監督署に届け出ていない</p>	<p>作成していない</p>		
	1	2	3	4	5		
	（3～5については、改善が必要です）						
<p>3 所定休日 所定休日をどのように定めていますか。</p> <p>休日は少なくとも毎週1日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません（法第35条）</p>	週休2日制		週休1日制		その他		
	完全（毎週）	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下
	1	2	3	4	5	6	7
	（7については、改善が必要です）						

4 年次有給休暇
年次有給休暇についてはどのように取り扱っていますか。

年次有給休暇は、6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上を出勤した労働者については10労働日、以降1年ごとに付与日数を増加しなければなりません(法第39条)

法定どおりの年次有給休暇を与えている	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている	年次有給休暇を与えていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です)

※年次有給休暇の法定の付与日数表(週所定労働日数が5日以上、又は、週所定労働時間が30時間以上の労働者の場合。)

勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

※なお、月30時間未満の労働者は比例付与することとされています。

5 健康診断
定期健康診断を実施していますか。

常時使用する労働者については、年1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生法第66条)。
なお、深夜業を含む業務等に常時従事する労働者に対しては6月以内ごとに1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生規則第45条)

毎年1回以上定期的に行っている	年によって行ったり行わなかったり一定しない	行ったことがない
①	2	3

(2、3については、改善が必要です)

6 最低賃金
地域別最低賃金以上の賃金を支払っていますか。

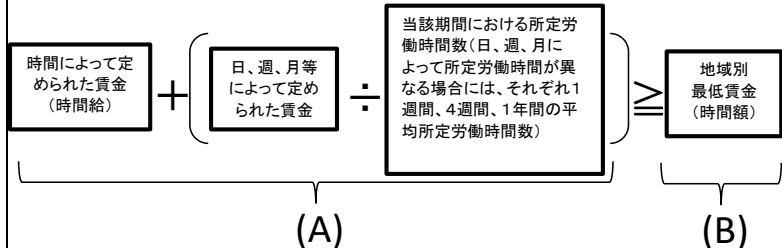
なお、地域別最低賃金には次の賃金は含まれません。

- ① 臨時に支払われる賃金(結婚手当等)
- ② 1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等)
- ③ 所定外・休日・深夜の労働に対して支払われる割増賃金
- ④ 精皆勤手当、通勤手当、家族手当

支払っている	支払っていない
①	2

(2については、改善が必要です。)

【支払う賃金(A)と地域別最低賃金(B)の比較方法】



7 割増賃金
時間外労働・休日労働又は深夜労働を行わせた場合に、その時間に対する割増賃金は、どのように支払っていますか。

法定労働時間を超える時間外労働については、2割5分以上、法定休日における休日労働については3割5分以上、深夜労働(午後10時から翌日午前5時の間の労働をいいます。)については2割5分以上の割増賃金を支払わなければなりません(法第37条)。

※割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、別居手当、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、一箇月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入しません。

時間外労働・深夜労働について

2割5分以上の割増率にしている	2割5分未満の割増率にしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です。)

休日労働について

3割5分以上の割増率にしている	3割5分未満の割増率にしている	休日労働をさせているが、支払っていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です。)

8 雇用保険の加入について

確認事項	従業員数	うち雇用保険 加入従業員数	うち雇用保険 未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の雇用保険加入状況	12	11	1

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の雇用保険加入に関する取組	加入手続き、保険料の納付は当組合で事務手続きを行っている。

確認事項	未加入とする理由
従業員に雇用保険未加入者がいる場合の未加入理由	別の会社で加入している。

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもつぱら従事する従業員(令和2年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

9 健康保険・厚生年金保険の加入について

確認事項	従業員数	うち健康保険 加入従業員数	うち健康保険 未加入従業員数	うち厚生年金保険 加入従業員数	うち厚生年金保険 未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の健康保険・厚生年金保険加入状況	12	4	8	4	8

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の健康保険・厚生年金保険加入に関する取組	加入手続き、保険料の納付は当組合で事務手続きを行っている。

確認事項	未加入とする理由
従業員に健康保険・厚生年金保険未加入者がいる場合の未加入理由	社会保険の加入条件を満たしていない為。

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもつぱら従事する従業員(令和2年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。